

## 地震対策等専門部会への検討依頼事項

地震対策等専門部会は、下記事項について検討を行い、宮城県防災会議へ初年度報告、中間報告及び最終報告を行う。

### ① 科学的な地震動の強さ及び津波の評価について

想定される地震動の強さや津波を可能な限り正確に評価するため、国が採用している最新の手法などを踏まえつつ、専門的な見地からの検討過程の確認を行い、必要に応じてデータ・分析の追加、修正を行う。

- 地震動の強さ……………震源モデル、地盤の評価、シミュレーション手法
- 津波……………震源モデル、浸水域予測、シミュレーション手法

### ② 想定地震及び津波の影響評価について

想定地震及び津波の被害想定について、社会情勢の変化などを踏まえつつ、専門的な見地からの確認を行い、必要に応じてデータ・分析の追加、修正を行う。

- 県民の住居環境への影響評価……………建築物などの被害想定
- 県民の地震後の生活への影響評価……………ライフライン施設(電気、水道など)の被害想定
- 地震後の対応への影響の評価……………社会基盤施設(道路など)の被害想定
- その他の影響評価……………造成地、斜面、液状化災害などの被害想定

### ③ 減災評価について(人的被害・経済被害)

算出された被害予測に基づき、国の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策検討ワーキンググループ」の動向等を踏まえつつ、宮城県における減災目標(地域目標)について専門的な見地から検討を行う。

- 人的被害、経済被害の算出
- 宮城県における減災目標(地域目標)の検討